

第21回 日本バイオセーフティ学会 総会・学術集会プログラム

～バイオセーフティを取巻く最近の状況～

会場：戸山サンライズ(新宿区戸山)(同時：Web開催)

開催日：2022年12月5日(月)～12月7日(水)

会長：篠原 克明(信州大学)

12月5日(月) プレカンファレンス

【11:00～17:00】 バイオリスク管理の進め方(曝露対応リスク評価の実践) モデレータ 伊木 繁雄(国立感染症研究所)

12月6日(火) 総会・学術集会(1日目)

【9:45～9:50】	開会・会場案内	小暮 一俊(日立産機システム)
【9:50～10:00】	JBSA 総会・学術集会 会長挨拶	篠原 克明(信州大学)
【10:00～12:00】	教育講演 バイオセーフティにおけるリスク評価 1) WHO 実験室バイオセーフティマニュアル4版におけるリスク評価の考え方とリスク評価トレーニング 2) JBSA ガイドラインにおけるリスク評価例 3) 現場対応例紹介	座長 河合 康洋(国立感染症研究所) 伊木 繁雄(国立感染症研究所) 篠原 克明(信州大学) 黒崎 陽平(長崎大学)、矢島 美彩子(長崎大学)
【13:10～13:40】	総会	
【13:40～14:20】	JBSA 委員会活動報告 1) バイオセーフティ専門家制度委員会 2) 学術企画委員会 3) 国際委員会 4) 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会、NL編集委員会	JBSA 理事長 北林 厚生 北林 厚生 伊木 繁雄 篠原 克明 杉山 和良
【14:30～17:30】	特別講演1 我が国における新型コロナ感染症対策Ⅰ 1) 新型コロナ感染症対策の総括(行政的対応を含めて) 2) 新型コロナウイルスの変異と病原性 3) SARS-CoV-2 ワクチン開発について 4) SARS-CoV-2 治療薬について	座長 篠原 克明(信州大学) 賀来 満夫(東北医科薬科大学) 前田 健(国立感染症研究所) 長谷川 秀樹(国立感染症研究所) 渡土 幸一(国立感染症研究所)

12月7日(水) 総会・学術集会(2日目)

【9:15～11:30】	特別講演2 我が国における新型コロナ感染症対策Ⅱ 1) 新型コロナウイルス感染症の拡散 2) 新型コロナウイルス感染症に対する医療現場の取組み 3) 新型コロナウイルス感染症に対するPPE	座長 前田 健(国立感染症研究所) 加来 浩器(防衛医科大学校)、金山 敦宏(防衛医科大学校) 國島 広之(聖マリアンナ医科大学) 篠原 克明(信州大学)
【11:30～12:30】	企業プレゼンテーション	座長 榎田 順一(イカリストリファーム)
【13:30～15:30】	シンポジウム バイオセーフティ専門家の要件・責務・役割: (JBSAにおけるバイオセーフティ専門家教育の紹介) 1) JBSA 実験室バイオセーフティ専門家制度紹介 2) ソフト対応 3) ハード対応 4) 実習紹介	座長 黒崎 陽平(長崎大学) 北林 厚生((一社)予防衛生協会、イカリ消毒株式会社) 杉山 和良(国立感染症研究所) 坂田 保司(山下PMC) 小暮 一俊(日立産機システム)、杉浦 彰彦(イカリストリファーム)
【15:45～17:00】	一般演題	座長 大沢 一貴(長崎大学)
【17:00～17:10】	閉会挨拶	篠原 克明(信州大学)

【12月6日(火)10:00～17:00、12月7日(水)10:00～16:00】 機器展示

総会・学術集会参加費	総会・学術集会のみ参加	総会・学術集会参加+プレカンファレンス参加	プレカンファレンスのみ参加
会員	10,000円	10,000円 総会・学術集会参加者はプレカンファレンス参加費は無料	3,000円
非会員	12,000円	15,000円 (総会・学術集会参加費12,000円+プレカンファレンス参加費3,000円)	5,000円

詳細については下記、日本バイオセーフティ学会のホームページをご覧ください。



日本バイオセーフティ学会
The Japanese Biological Safety Association

第21回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会事務局
(日本バイオセーフティ学会事務局)
一般社団法人予防衛生協会内
〒305-0003 茨城県つくば市桜一丁目16番2
E-mail: jbsa-gakkai@primate.or.jp
TEL: 029-828-6888 FAX: 029-828-6891
https://jbsa-gakkai.jp